廣讃寺ジャーナル

第 70 号
（発行所）
真宗大谷派
松岡山 廣讃寺
中村区城屋敷町3-30
TEL(052)411-5301
FAX(052)411-5341
携帯 090-1568-4623
〈E-mail〉
matsuoka@kosanji.or.jp

今から始まる

また新しい年になりました。

今から13年前の大晦日の23時59分、西暦２０００年から２００１年になるカウントダウン、つまり20世紀から21世紀になった時のことを思い出してみると、いよいよ社会が変わる、新しくなると実感したものでした。

しかし、最近はなんだかメリハリがないというか、新年という時を普通に過ごしているような気がします。それで、何か書類を書くときに、ふと今年が何年かわからなくなってしまう、要は何年だって同じということです。年齢だって同じです。21歳から22歳になる時っていうのはすごく大きく感じました。

それが今では「新年慣れ」してしまったような。今年こそは新しく転換したいものです。

何をしに廣讃寺の報恩講に来たのか

（わたしの中のわずかな求道心）

釋仁性（平松仁）

11月30日から12月1日にかけての深夜。明日の廣讃寺報恩講最終日に行く準備をしながら、廣讃寺の皆さんの顔を思い浮かべ床についた。

朝になり身支度をしている間も、道中の車の中でも頭の中は報恩講のことでいっぱいでした。

お寺に着くと、まだこの地に縁もゆかりもない私のような者を、廣讃寺の皆さんはあたたかく迎えてくださいました。

お勤めが終わり法話が始まるとどうしても前に座りたくなりました。それは今日、法話をしてくださる先生とは今年の9月に別のお寺でお会いしていて、名前もたずねられ、直接お話しもさせていただいたので、きっとまだ私のことを先生は覚えていてくださるであろうと期待していたからです。

法話の後、先生の近くに行き、あいさつをしましたら、実にそっけなく、淡々とした様子で去っていかれました。私は何だか、もやっとなり、ちょっとひねくれていましたが、昼からのお勤めを勤めているうちに私の中でもう一人の私が「今日は何をしにここに来たのか」と問いかけてきました。私はハッと思い、昨日からの心の中を思い返し一番重要なことをすっかり忘れている私に気が付きました。報恩講のご縁を通して私自身の問題について問いに来ているのだと。

ただ単に仏教の勉強をしに来たわけでない。皆さんや先生との再会のためでもありませんでした。

そして気持ちの切り替わりがハッキリとわかると、このお勤めがまるで私を応援しているように聞こえてきたので、私もそのお返しをするつもりで精一杯お勤めしました。

そして法話が始まると、まるで私一人にスポットライトを当て「これでもか！」と思うくらいの勢いで私の中に法話が入ってきました。

もしかしたら、これが私の中の求道心の働きだったのか。そしてこの感覚は廣讃寺の皆さんや先生がいなければ得られなかったのです。皆さんの求道心と私の

求道心が互いに呼び合っている気がするのです。

これから様々な人たちに育てていただきます。今年の報恩講ではたくさん大切なことを教えていただきました。本当に深く、深く感謝いたします。

身心柔和であれ

釋綽智

大寒波が襲来。明日は師走という寒い日に竹原了珠（りょうじゅ）師の法話を聴聞した。時々、カラカラと笑いながら身近な事例をあげて、やさしい言葉の道理（仏法）を、きちんと説明される。私の頭に残るところをご報告します。

一、人間生活は周囲の状況によって変わるものである。（絶対他力の信心）

私たちは少しでも豊かに楽しく自由に長生きしたいと思いつつ、自分が努力すれば何でも出来ると思い込んでしまう。自力には限界があるのであまり固執しないように。

二、「感動」「目からウロコ」の喜びの中から本当の念仏が生まれるのだよ。

人間として生まれた喜び・苦しさから、「会えてよかった」「生きていてよかった」と感じる時に自然と出てくる念仏こそ尊いものはない。

三、身心柔和であれ

本願第三十三願が好きだと言われた。身心がバランスよく生きられるのは難しい。自由に生きれば硬くなる。その時は念仏をすれば柔らかくなるとのこと。

・　・　・　・

会者定離（えしゃじょうり）。竹原了珠師は名古屋教区で六年間、教導を勤められ、この十二月で退職し、郷里石川の自坊に帰られます。お子様の一生（いっせい）君、尋（じん）君、耀（てる）さんが今日の法話に出され、それぞれ性格・感受性の違いは当然のことですが、竹原師と共に郷里で大きく育ってほしい。推進員養成講座をはじめ、六年間のご指導に感謝しております。

平成26年 廣讃寺行事予定一覧表

1月 1日（休）	午前10時	修正会
3月21日（休）	午前10時	春季彼岸永代経
3月24日（月）	午前10時	女人講報恩講
3月28日（金）	午前10時	二十八日講総会
4月20日（日）		廣讃寺同朋会旅行
5月 5日（休）	午前10時	復興永代経
7月20日（日）	午前 6 時	納涼大会
9月14日（日）	午前 9 時	境内大掃除
9月23日（休）	午前10時	秋季彼岸永代経
9月28日（日）	午前10時	二十八日講総会
12月 5日（金）	午前 9 時	報恩講準備
12月 6日（土）	午前10時	報恩講
12月 7日（日）	午前10時	報恩講
12月31日（水）	午後11時半	除夜の鐘

※日程や時間は変更する場合もありますのでご了承ください

行事予定

一月一日（祝）十時　修正会
十一日（土）七時半 同朋委員会・例会
（役員は七時）
十九日（日）二時～四時　学習会
二十八日（火）十時　二十八日講・女人講

二月八日（土）七時半 同朋委員会・例会
（役員は七時）
十九日（水）二時～四時　学習会
二十八日（金）十時　二十八日講・女人講

【20組行事】

ご命日の集い
法話・新年懇親会
一月二十五日（土） 午後四時～七時
会　場　なごや花亭　美よし
講　師　楳山正樹 先生
参加費　四〇〇〇円（当日集金）
※参加希望の方は寺まで